



2006.7

No. 150

MONTHLY

# れんごう



<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 佐藤 富夫

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろウビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

## 第33回地方委員会を開催

### 統一地方選挙・参議院選挙の第1次推薦決まる

連合北海道は、6月28日、第33回地方委員会を開催し、2006春季生活闘争の中間まとめと07政治決戦に向けた取り組み方針を確認した。

冒頭、渡部連合北海道会長は、最近亡くなられた竹田現照元参議、菅野久光元参議、森尾 元全道労協議長への哀悼の意を表明した。

その後、挨拶の中で小泉政権は「無責任で冷淡な施政に終始してきた」と断じ、その結果、雇用不安、低所得者の増大、社会の闇が拡大するのが小泉後の社会であるとし、公平・公正、安心・安全な社会を創るためにも政策実現力を身につけることが大事とし、まず直近に実施される苫小牧市長選挙に勝利することが来春の統一地方選挙勝利に結びつき、参議院選挙勝利に繋げ、政権交代を実現させるとした。

今回の地方委員会では、1. 2006春季生活闘争の中間まとめ、2. 第16回統一自治体選挙の推進について、3. 第21回参議院選挙闘争の推進について、4. 苫小牧市長選挙必

勝に向けた支援について等の議案を提案・審議し、確認された。

出席委員からは、公務員の人員削減問題、季節労働者の冬期雇用援護制度の問題、夕張市の財政問題等について意見が出された。

また、来年実施される道議選・札幌市議選の新人候補予定者と参議院選挙候補予定者の小川勝也参議院議員を紹介し、参加者全員で激励した。

最後に、渡部会長の音頭による団結ガンパローで委員会を終了した。



この記事のアドレス [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly\\_new\\_2006\\_0628\\_33chihouiinnkai.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly_new_2006_0628_33chihouiinnkai.html)

## < 第16回統一自治体選挙 北海道議会議員第1次推薦候補予定者 >

選挙区	民主党	氏名	ふりがな	期	年齢
札幌市中央区	公認	段坂 繁美	だんざか・しげみ	現4期	57歳
札幌市南区	公認	林 大記	はやし・ひろふみ	現3期	54歳
札幌市西区	公認	道下 大樹	みちした・だいき	新人	30歳
札幌市北区	公認	蝦名 清悦	えびな・せいえつ	現2期	54歳
札幌市東区	公認	星野 高志	ほしの・たかし	現3期	54歳
〃	(未定)	久保 雅司	くぼ・まさし	現2期	50歳
札幌市白石区	公認	廣田まゆみ	ひろた・まゆみ	新人	42歳
札幌市豊平区	公認	佐野 法充	さの・のりみち	現2期	58歳
札幌市清田区	公認	梶谷 大志	かじや・たいし	新人	34歳
札幌市手稲区	公認	須田 靖子	すだ・やすこ	現1期	54歳
札幌市厚別区	公認	伊藤 政信	いとう・まさのぶ	現4期	62歳
小樽市	公認	池田 隆一	いけだ・りゅういち	現1期	61歳

選挙区	民主党	氏名	ふりがな	期	年齢
北広島市	公認	沢岡 信広	さわおか・のぶひろ	現3期	56歳
石狩市	推薦	織田 展嘉	おだ・のぶよし	現1期	59歳
旭川市	公認	木村 峰行	きむら・みねゆき	現2期	56歳
〃	推薦	三井あき子	みつい・あきこ	現2期	44歳
釧路支庁	公認	岡田 篤	おかだ・あつし	現2期	55歳
函館市	公認	平出 陽子	ひらで・ようこ	現4期	57歳
〃	公認	斉藤 博	さいとう・ひろし	現2期	55歳
〃	公認	高橋 亨	たかはし・とおる	現1期	52歳
渡島支庁	公認	岡田 俊之	おかだ・としゆき	現2期	66歳
〃	公認	長尾 信秀	ながお・のぶひで	現1期	60歳
桧山支庁	推薦	福原 賢孝	ふくはら・よしたか	現1期	58歳
登別市	推薦	井野 厚	いの・あつし	現5期	58歳
苫小牧市	公認	沖田 龍児	おきた・りゅうじ	現2期	61歳
伊達市	公認	中山 智康	なかやま・ともやす	新人	31歳
胆振支庁	公認	田村 龍治	たむら・りゅうじ	現1期	54歳
岩見沢市	公認	河合 清秀	かわい・せいしゅう	新人	59歳
空知支庁	公認	稲村 久男	いなむら・ひさお	新人	50歳

(以上29名)

(備考)民主党北海道第7回運営委員会では公認25名、推薦5名の内、

網走市:鯉谷忠、北見市:小谷每彦、網走支庁:日下太郎、保村啓二は連合北海道第2次推薦となる見込み。渡島支庁:長尾氏は北斗市選挙区に移行予定。

## &lt;札幌市議会議員第1次推薦候補予定者&gt;

選挙区	民主党	氏名	ふりがな	期	年齢
札幌市中央区	公認	藤川 雅司	ふじかわ・まさし	現1期	49歳
〃	公認	長谷川 衛	はせがわ・まもる	新人	57歳
札幌市南区	公認	猪熊 輝夫	いのくま・てるお	現6期	62歳
〃	公認	三宅 由美	みやけ・ゆみ	現1期	57歳
札幌市西区	公認	大嶋 薫	おおしま・かおる	現3期	55歳
〃	公認	佐藤 右司	さとう・ゆうじ	新人	57歳
札幌市北区	公認	湊谷 隆	みなとや・たかし	現8期	68歳
〃	公認	伊与部年男	いよべ・としお	現7期	69歳
札幌市東区	公認	川口谷 正	かわぐちや・ただし	現6期	67歳
〃	公認	藤原 広昭	ふじわら・ひろあき	現3期	54歳
札幌市白石区	公認	畑瀬 幸二	はたせ・こうじ	現4期	60歳
〃	公認	村上 勝志	むらかみ・かつし	現2期	57歳
札幌市豊平区	公認	峯廻 紀昌	みねまわり・のりまさ	現1期	46歳
〃	推薦	林家とんでん平	はやしや・とんでんへい	現1期	54歳
札幌市清田区	公認	桑原 透	くわばら・とおる	現1期	49歳
〃	公認	恩村 一郎	おんむら・いちろう	現2期	53歳
札幌市手稲区	公認	小野 正美	おの・まさみ	現3期	56歳
〃	公認	福士 勝	ふくし・かつ	現5期	57歳
札幌市厚別区	公認	西村 茂樹	にしむら・しげき	現6期	63歳
〃	推薦	小川 直人	おがわ・なおと	新人	49歳

(以上20名) (備考)民主党第7回運営委員会では公認17名、推薦2名

## 平和行動in沖縄行動に参加

現地訪れ平和行動への決意新たに

事実上沖縄戦が集結したとされる6月23日に行われる「沖縄慰霊の日」を中心に連合「平和行動in沖縄」が開催され、北海道からは14名が参加した。一行は、21日から沖縄に入り、22日に独自学習を開催した。午前中は町の54%程の米軍基地を抱える北谷町で「基地の現状と被害」と題して役場職員からの説明と周りに見える基地を視察した。午後からは、「ひめゆり学徒隊」であった宮城喜久子さんから沖縄戦の様子を学ぶとともに、吉元政矩さんからは「東アジアに平和を」と題して日米再編の動きや今後の見通し、そして、それに対する取り組みなどが話された。悲惨な地上戦が行われた当時の様子を学ぶことができ、大変有意義な学習であった。

6月23日には、連合主催の「2006平和沖縄集会」が開催された。オープニングアトラクション(エイサー、高校生による詩の朗読、北島角子さんによる一人芝居「赤いブクブク」、北谷町長による講演「基地の街から若者の街へ」)に続き、平和式典が開催された。主催者として連合本部会長代行の森越さんが、「大きな日米再編の見直しの動きは、安保体制の大きな質的変換である。引き続き在日米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の見直しに取り組む」と挨拶した。そ

の後、地元沖縄連合会長の挨拶があった後、来賓挨拶、平和メッセージ、平和アピールが行われた。

6月24日は、バスに分乗り「ピース・フィールドワーク(沖縄戦・南部戦跡に学ぶ)」が行われ、「糸数壕」「ひめゆりの塔」「平和資料館」「普天間基地」などを見学した。最後に、普天間基地ゲート前で米軍基地の整理・縮小と地位協定改正を求める集会を行い、ヘリコプターが墜落した沖縄国際大学キャンパス前までデモ行進行い終了した。参加した14名は、今回の経験を元に、地元及び産別の中でより一層の平和行動に取り組む決意を新たに帰道した。



この記事のアドレス [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly\\_new\\_2006\\_0623\\_piace\\_in\\_okinawa.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly_new_2006_0623_piace_in_okinawa.html)

## 国・道へ「季節・建設労働者の雇用と生活を守る要請」

冬期雇用援護制度の根幹維持と新たな支援制度創設を

連合北海道、北海道季節労働組合、全建総連北海道連合会は6月12日、道に対して、「季節・建設労働者の雇用と生活を守る要請」を行った。



政府は小泉構造改革のもとで季節労働者の減少が東北地方に比較して遅いこと、北海道における季節労働者対策が不十分であることなどを理由に、冬期失業する季節労働者の命の支えともいべき冬期雇用援護制度を平成18年度の暫定措置期間の終了をもって廃止しようとしている。

要請では1.国に対して、現行暫定制度の根幹を維持した新たな支援制度の創設を強く求めること。2.季節労働者の冬期失業解消と事業の平準化を道民課題と位置づけ、オール北海道の運動に知事が先頭に立って取り組むこと。また、具体的な計画の策定や推進機関の設置など、推進に向けた具体的な行動を進めること。3.特例一時金の廃止を含めた検討に、知事として反対の姿勢を明らかにし、オール北海道の課題として国に反対を申し入れること、の3点について要請した。

対応した近藤副知事は新たな支援制度の創設にあたっては「暫定制度の性格を残した新たな支援制度については、今までの話し合いでは実現は難しいとの感触を受けている」とし、「建設事業主

が季節労働者に対して実施する訓練への支援や、『試行雇用奨励金』や『常用就職支度手当』の支給対象者の拡大も含めながら、制度についても粘り強く要請していく」と答えた。佐藤事務局長らが「通年雇用化に向けて新たな支援制度の創設に、道は万難を排して対応するとの道の姿勢は変わっていないのか」と重ねて質したのに対し、近藤副知事は「通年雇用化につながるような新しい制度を創っていかなければならない。その考えは変わっていない」と答弁し、これまでの論議経過から変わらないこと、今後、制度の具体的内容について考え方を持ち寄って検討していくことを確認した。

また、冬期雇用援護制度と車の両輪で季節労働者の冬期間の生活を支えている短期特例一時金について、廃止を含めた見直しは厚生労働省労働政策審議会で審議されていることに関して、反対の姿勢を明らかに求めたのに対し、近藤副知事は「一時金は重要な役割を果たしている」と認識している。審議の状況を踏まえながら、適切に対応する」との回答にとどまったため、再度道の考えを求めたが近藤副知事は「審議会の中でどのような議論がされるが重要だ。議論を踏まえて対応していきたい」と、明確な姿勢は示さなかった。

連合北海道、道季労、全建総連は今後も方向が示されるまで取り組んでいくこととし、15日には厚生労働省に対し組織内外で取り組んだ署名を提出し同様の要請を行った。

この記事のアドレス [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly\\_new\\_kisetu\\_doh\\_612.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly_new_kisetu_doh_612.html)



# 労働判例研究シリーズ《第8回》

連合北海道ホームページで掲載中

北海道大学法学部 道幸研究会のご協力により、連合北海道のホームページ上で、最近の労働判例に関する経過・結果とその講評を掲載します。第8回は「国(金沢労基署長)災害調査復命書提出命令事件」についてです。ぜひご参照ください。なお、ご質問やご意見については、連合北海道宛のメールでお願いします(center@rengo-hokkaido.or.jp)。

【労働判例研究シリーズのアドレス】[http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/hanrei\\_face.htm](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/hanrei_face.htm)

## 国(金沢労基署長)災害調査復命書提出命令事件

最高裁三小平17.10.14決定(労判903 5)

### 【事実の概要】

本件は、労働基準監督署が労災事故につき、作成・保管する「災害調査復命書」が、文書提出命令の拒否事由たる民法220条4号口所定の「公務秘密文書」に該当するか否かが争われた事件である。

本件の本案事件は、Xら(抗告人・被害者の両親)の子が本件事業場において就業中に本件労災事故に遭って死亡したとして、安全配慮義務違反等に基づいて損害賠償を求める事件である。Xらは、本案事件において本件労災事故の事実関係を具体的に明らかにするために必要であるとして、民事訴訟法220条3号又は4号に基づき、国(Y)に対し、本件労災事故の災害調査復命書である「本件文書」の提出命令の申立てをした。

これに対し、Yは、「本件文書」は民法220条4号口所定の文書に該当し、これを提出すべき義務を負わないと主張した。一審は本件申立てを容認したが、二審は一審決定を取り消し、本件申立てを却下した。

### 【裁判所の判断】

現決定を破棄し、名古屋高等裁判所に差し戻した。本決定は、「公務員の職務上の秘密」には、公務員の所掌事務に属する秘密だけでなく、公務員が職務を遂行する上で知ることができた私人の秘密であって、それが本案事件において公にされることにより、私人との信頼関係が損なわれ、公務の公正かつ円滑な運営に支障を来すこととなるものも含まれると判示した。また、公務員の職務上の秘密には、公務員が職務上知り得た私人の秘密も含まれるが、職務上の秘密に当たるのは、公務の公正かつ円滑な運営に支障を来すこととなるものに限られることを明確にした。

次に本決定は、220条4号口の「その提出により公共の利益

を害し、又は公務の遂行に著しい支障を生ずるおそれがある」の意義につき、単に文書の性格から公共の利益を害し、又は、公務の遂行に著しい支障を生ずる抽象的なおそれがあることが認められるというだけでは足りず、その文書の記載内容からみてそのおそれの存在することが具体的に認められることが必要であることを明確にした。

また本件では、新たな枠組みとして災害調査復命書を、調査担当官が知り得た会社にとっての私的な情報と、行政内部の意思形成過程に関する情報の二つに分け、いずれも4号口の「公務員の職務上の秘密に関する文書」に当たるとしながら、については申立てを認め、については否定した。

### 【検討】

男女差別や組合間差別などの訴訟では、労働者側が立証責任を負うことになるが、申立てにかかわる主要な文書を所持しておらず、立証することは難しい。労働者側は日常的に作成文書の存在、内容等に関心を持ち、調査・保持できればいいのだが、国や企業側の壁は厚く、関係文書を揃えることは困難な作業である。

本決定において、今まで、ほとんど民事訴訟に提出されることのなかった労働基準監督署の保管する災害調査復命書の提出を、一部ではあってもその開示範囲を示し、認めた意義は大きい。特に、「調査担当官が知ることのできた『本件事業場の安全管理体制、本件労災事故の発生状況、発生原因等』の、被告会社にとっての私的情報」にかかわる部分が、民事訴訟法4号口所定の文書「公務員の秘密に関する文書」でその提出により公共の利益を害し、または、公務の遂行に著しい支障を生ずるおそれがあるもの、の公務秘密文書に該当しないと判断したところは、今後の労災民事賠償訴訟に与える影響は大きいものがあると思われる。

本件決定において開示の一般的基準が示されたことにより、今後、文書の開示範囲が具体的に明らかになり、行政の保有する情報公開が拡大していくことが期待される。



## 7月の主な動き

地域活動強化ブロック総対話集会  
(Aグループ:石狩・後志・空知・留萌)  
4日(火)15:00 / うたしなないチロルの湯  
地域活動強化ブロック総対話集会  
(Bグループ:渡島・檜山・胆振・日高)  
5日(水)15:00 / 洞爺湖萬世閣  
連合北海道ゴルフコンペ  
7日(金)8:00 / 羊ヶ丘カントリークラブ  
中華総工会交流  
9日(日)~14日(金) / 黒竜江省、他  
F15戦闘機訓練千歳基地移転問題対策会議  
11日(火)13:30 / 連合北海道会議室

### 第3回政策委員会

12日(水)13:30 / 北農健保会館  
労働者のための労働契約法・労働時間法  
実現を求める7.12集会  
12日(水)18:30 / エルブラザ  
第14回障害者にやさしい北海道の旅  
13日(木)9:00 / 苫小牧アルテン  
常駐者会議  
18日(火)10:00 / 連合北海道会議室  
第9回執行委員会  
19日(水)10:30 / 連合北海道会議室  
地協事務局長会議  
19日(水)13:30 / 連合北海道会議室

## イベントカレンダー

各省庁への2007年度予算への要請行動  
20日(木) / 厚生労働省、他  
連合北海道ボランティア研修会  
22日(土)10:00 / 教育会館  
地域活動強化ブロック総対話集会  
(Cグループ:上川・網走・宗谷)  
24日(月)15:00 / ホテル黒部  
地域活動強化ブロック総対話集会  
(Dグループ:釧路・十勝)  
25日(火)15:00 / しほろ温泉

